

鉄道ホームドクターをもっと気軽に使っていただくために

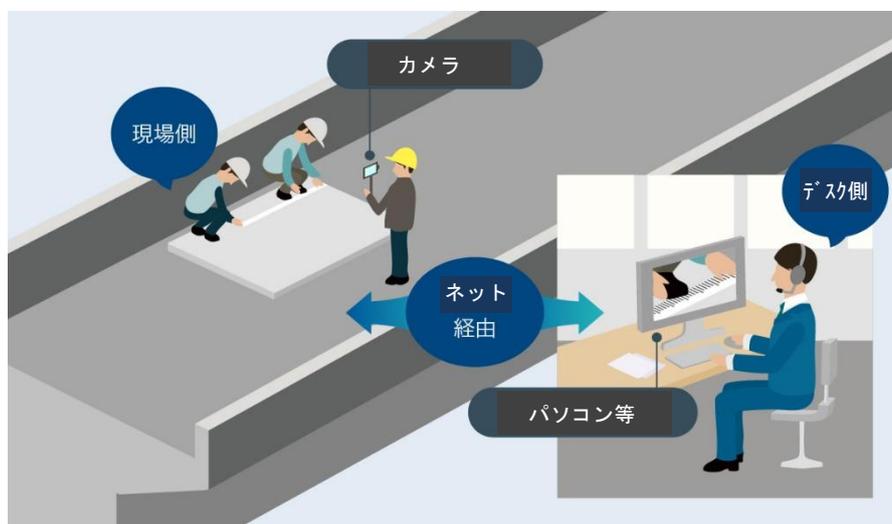
コロナ禍で学んだことのひとつにWEB会議の便利さがあると思います。同様に、現場が遠隔地にある場合、現地でカメラ等を使用してもらい、インターネット経由で現地の状況を伝えてもらう「遠隔臨場」という方法が場合によっては有効であることが分かりました。一方で、WEB会議では物事の詳細までは伝えにくいというデメリットがあり、遠隔臨場では現状把握に限界があるのも事実であると思います。

そこで、私どもで行っている「鉄道ホームドクター」においても、まずは予備的に遠隔臨場をさせていただき、その後必要に応じて実際に現地を拝見して、技術的支援が出来ないかと考えております。

そのような対応をさせていただくことで、地域鉄道事業者、地方公共団体の皆様により気軽に技術支援要請をしていただけないかと考えています。

どんな些細なことでも、まずは、メール(または電話)でご一報いただき、その後、日程調整のうえ、遠隔臨場で現地と繋ぎながら技術的なご相談に乗らせていただくのは如何でしょうか。

DX推進が叫ばれている中、私どもも新たな取組みをさせていただければ幸いです。



[連絡先]

(独)鉄道・運輸機構 鉄道企画調査部 鉄道総合支援課
電話 045-222-9059
FAX 045-222-9094
email:shien-53je@jr-tt.go.jp

↑まずはお気軽にメールでご一報ください！！